



平成 20 年 6 月 23 日

原子力安全対策課

担当者 田代

内線 1880 直通 0952-25-7081

E-mail: genshiryokuanzentaisaku@pref.saga.lg.jp

九州電力（株）玄海原子力発電所 4 号機の自動停止について、原因と対策の連絡を受け、対策に万全を期すことを要請しました

九州電力の玄海原子力発電所 4 号機は、6 月 20 日午前 4 時 41 分、通常運転中、発電機の自動停止により、原子炉が自動停止しました。[6 月 20 日プレスリリース済み、環境への影響なし]

本日、この件について点検・調査を実施していた九州電力から、以下のとおり、原因と対策について連絡を受けました。

今回の事象は、安全に影響を及ぼす事象ではなかったものの、作業管理における基本的な事項である、異物の混入防止が徹底されていなかったことが原因で発生したもので、初歩的かつ人為的なミスであり、大変遺憾なことであります。

このため、九州電力に対して、作業工程の見直しや改善など、再発防止対策を強く要請しました。

[九州電力からの連絡内容]

- 原因は、定期検査中に実施した、発電機固定子冷却水系統点検作業に使用した部品（プラスチック製パッキン）を、作業後に取り外すべきところ、そのまま冷却系統内に置き忘れたために、部品がポンプに付着し、冷却水の流量が低下したことによるものと推定され、その結果、発電機が自動停止し、それに伴いタービン及び原子炉が自動停止した。
- 今後の対策として、作業手順書の見直しなど、異物管理の徹底を行い、協力会社を含めた職員に対して、この再発防止策の教育を行い、対策の周知・徹底を図る。

